2023 年 11 月 28 日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCSテクニカルワークショップ2024

～国内におけるCO_2地中貯留の実用化・事業化に向けて～

開催について

2023年3月に経済産業省によって公表された「CCS長期ロードマップ検討会」の最終取りまとめにおいて、CCSは我が国のエネルギーの安定供給とカーボンニュートラルの実現にとって不可欠な技術とされ、2050年時点で年間1.2-2.4億トンのCO_2貯留を可能とすることを目安に、2030年までの事業開始に向けた事業環境を整備し、2030年以降本格的なCCS事業を展開することとされています。この中で、事業化に向けての具体的なアクションが示され、「CCS事業への政府支援」の一環として、2023年6月に7つの「先進的CCS事業」が選定され、2030年の事業開始に向けた取組が進められています。

一方、技術開発においては、具体的なコスト削減目標を掲げ、技術開発・実証を推進するとしています。現在、二酸化炭素地中貯留技術研究組合は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業において、光ファイバーセンシングによる安全性追求とモニタリング手法やCCSの事業性向上のための計画手法の構築、社会合意形成に資する技術開発等を推進しています。

本ワークショップでは、当技術研究組合からそうした技術開発の取組みを報告するほか、CCSの事業化において先行する海外諸国の先進的な活動を取り上げます。具体的には、全世界に活動を展開する認証機関の専門家よりCCS分野における認証制度を、技術研究組合と協働して技術開発に取り組む研究機関の専門家より豪州における地中貯留の経験をご紹介します。また、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

1. 開催概要

日程　2024年1月24日（水）13:00～17:25（受付開始12:30）

会場　イイノホール（東京都千代田区）およびweb配信

入場無料、言語：日本語・英語　（同時通訳有り）

主催　二酸化炭素地中貯留技術研究組合

組合員：・伊藤忠商事株式会社・伊藤忠石油開発株式会社・応用地質株式会社　・石油資源開発株式会社　・大成建設株式会社・電源開発株式会社　・　三菱ガス化学株式会社・株式会社INPEX・JX石油開発株式会社・国立研究開発法人産業技術総合研究所・公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催　経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

開催案内URL　https://www.rite.or.jp/news/events/2023/11/ccs2024.html

2. プログラム　　（敬称略）

モデレーター：東京大学大学院 工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター
センター長・教授　佐藤 光三

時刻	演題（仮題）	登壇者
12:30	開場（受付・ポスター展示 開始）	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長 佐伯 徳彦
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部長 福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	東京大学大学院 教授 佐藤 光三
13:20～14:20	講演1 （豪州におけるCO_2地中貯留）	Damian Barrett CSIRO, Research Director
14:20～15:20	講演2 （CCSの認証制度）	Jorg Aarnes Global Lead – Hydrogen and CCS, DNV
15:20～16:00	ポスターセッション ＆ コーヒーブレイク	
16:00～17:10	講演3 （国内におけるCO_2地中貯留の実用化・事業化に向けて）	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
17:10～17:20	総括	東京大学大学院 教授 佐藤 光三
17:20～17:25	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
（閉会後）	意見交換会（会費制）、ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。

3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申し込み下さい。

(ア) オンライン登録

【開催案内】 https://www.rite.or.jp/news/events/2023/11/ccs2024.html

【参加登録】 https://ccsws2024.net/form/

(イ) E-mail でのお申し込み

【宛先】 ccsws@rite.or.jp

【記入事項】

1. お名前（漢字）： 2. お名前（かな）： 3. 会社名（漢字）： 4. 会社名（かな）： 5. 部署名： 6. 役職名： 7. お電話番号： 8. Email アドレス： 9. ご希望の参加方法：（会場参加・ Web 配信）： 10. 意見交換会：（参加・不参加）： 11. 今後の関連イベント案内の送付：（可・不可）

(ウ) 参加お申し込み締め切り

会場参加を希望される場合: 2024 年 1 月 10 日（水）

web 配信を希望される場合: 2024 年 1 月 17 日（水）

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2024 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccsws@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

＜添付資料＞

CCS テクニカルワークショップ 2024 リーフレット

CCSテクニカルワークショップ2024

～国内におけるCO_2地中貯留の実用化・事業化に向けて～

日 程　2024年1月24日(水)
13:00～17:25(受付開始12:30)

会 場　イイノホール および　Web配信

主 催　二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共 催　経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

入場無料　**言語：日本語・英語（同時通訳有り）**

ワークショップ終了後、意見交換会を実施します。(会費制：3千円)

モデレーター： 東京大学大学院　工学系研究科　エネルギー・資源フロンティアセンター
センター長・教授　佐藤 光三

（敬称略）

時刻	演題(仮題)	登壇者
12:30	開場(受付・ポスター展示　開始)	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長　平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省　資源エネルギー庁 資源燃料部　燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長　佐伯 徳彦
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部長　福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	東京大学大学院　教授　佐藤 光三
13:20～14:20	講演1 （豪州におけるCO_2地中貯留）	Damian Barrett Research Director, Energy Resources, CSIRO
14:20～15:20	講演2 （CCSの認証制度）	Jorg Aarnes Global Lead – Hydrogen and CCS, DNV
15:20～16:00	ポスターセッション ＆ コーヒーブレイク	
16:00～17:10	講演3 （国内におけるCO_2地中貯留の実用化・事業化に向けて）	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長　薛 自求
17:10～17:20	総括	東京大学大学院　教授　佐藤 光三
17:20～17:25	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
(閉会後)	意見交換会(会費制)、ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

二酸化炭素地中貯留技術研究組合
Geological Carbon Dioxide Storage Technology Research Association

NEDO

二酸化炭素地中貯留技術研究組合には下記の法人が参画しています。
・伊藤忠商事株式会社　・伊藤忠石油開発株式会社　・応用地質株式会社　・石油資源開発株式会社・大成建設株式会社
・電源開発株式会社・三菱ガス化学株式会社　・株式会社INPEX　・JX石油開発株式会社　・国立研究開発法人産業技術総合研究所
・公益財団法人地球環境産業技術研究機構

開催趣旨

2023年3月に経済産業省によって公表された「CCS長期ロードマップ検討会」の最終取りまとめにおいて、CCSは我が国のエネルギーの安定供給とカーボンニュートラルの実現にとって不可欠な技術とされ、2050年時点で年間1.2-2.4億トンのCO_2貯留を可能とすることを目安に、2030年までの事業開始に向けた事業環境を整備し、2030年以降本格的なCCS事業を展開することとされています。この中で、事業化に向けての具体的なアクションが示され、「CCS事業への政府支援」の一環として、2023年6月に7つの「先進的CCS事業」が選定され、2030年の事業開始に向けた取組が進められています。

一方、技術開発においては、具体的なコスト削減目標を掲げ、技術開発・実証を推進するとしています。現在、二酸化炭素地中貯留技術研究組合は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業において、光ファイバーセンシングによる安全性追求とモニタリング手法やCCSの事業性向上のための計画手法の構築、社会合意形成に資する技術開発等を推進しています。

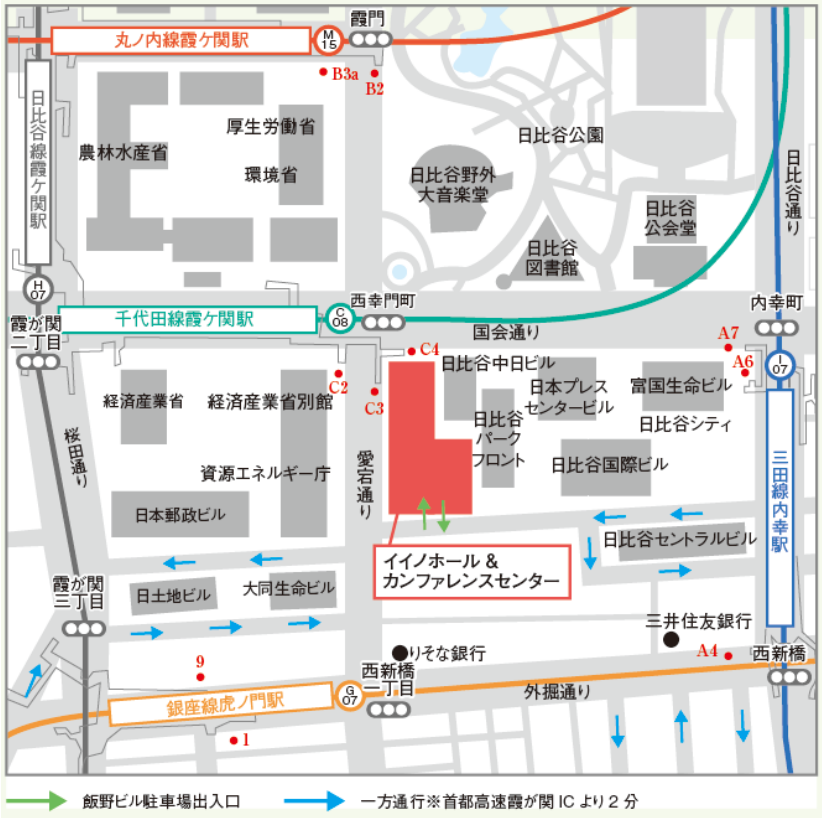
本ワークショップでは、当技術研究組合からそうした技術開発の取組みを報告するほか、CCSの事業化において先行する海外諸国の先進的な活動を取り上げます。具体的には、全世界に活動を展開する認証機関の専門家よりCCS分野における認証制度を、技術研究組合と協働して技術開発に取り組む研究機関の専門家より豪州における地中貯留の経験をご紹介します。また、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

会場へのアクセス

イイノホール＆カンファレンスセンター

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ケ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ 丸ノ内線「霞ケ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分
- JR各線「新橋」駅徒歩10分

https://www.iino.co.jp/hall/access/
東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビルディング4F



■開催案内

https://www.rite.or.jp/news/events/2023/11/ccs2024.html

■申込方法

下記のサイトからお申込をお願いいたします。
https://ccsws2024.net/form/

会場参加申込締切：　2024年1月10日(水)
Web 配信申込締切：　2024年1月17日(水)

サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項をご記入の上、ccsws@rite.or.jpまでEメールでお申し込みください。
参加申し込み記載事項
1. お名前(漢字)：
2. お名前(かな)：
3. 会社名(漢字)：
4. 会社名(かな)：
5. 部署名：
6. 役職名：
7. お電話番号：
8. Emailアドレス：
9.ご希望の参加方法：(会場参加・ Web配信)
10. 意見交換会：(参加・不参加)
11. 今後の関連イベント案内の送付：(可・不可)

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

■お問合せ先
CCSワークショップ2024　事務局　Eメール：ccsws@rite.or.jp　TEL：03-5549-6911